

【表1】東京電力はこれまで、福島第一原発事故の原因は想定外の「津波」によるもの、という主張を国会で繰り返してきた

2011/4/18 参議院予算委員会	清水正孝社長 (当時)	今回の事象は、 <u>想定をはるかに超える津波の襲来</u> によりまして、結果として今回の事故を引き起こしてしまいましたことにつきましては、原子力発電所の保安活動全体を統括する責任ある立場として大変重く受け止めております。
2011/5/1 参議院予算委員会	清水正孝社長 (当時)	今回の福島第一原子力発電所の事故は、やはり大地震によって外部電源が喪失する、さらに津波によってディーゼル発電機の機能が喪失してしまったと、このような事象でございます。
2011/5/2 参議院予算委員会	清水正孝社長 (当時)	今回の原子力災害、大変巨大な地震と、それから <u>史上まれに見る津波の来襲</u> によりまして電源と原子炉の冷却装置が喪失したということで、結果として大変重大な事故を引き起こしてしまったということでございます。 この辺のこれまでの経過等につきましてはこれから事故調査委員会等の場でしっかりと検証させていただきたいと思いますが、少なくとも津波については私どもの予想をはるかに超えておったと、予想できなかったということは率直に反省いたしております
2011/6/14 参議院 震災復興特別委員会	清水正孝社長 (当時)	今回の事故につきましては、御案内のとおり、 <u>国内観測史上最大の地震とこれに伴う大津波の影響</u> によるものというふうに考えられておりますが、…

* 国会会議録から抜粋

【表2】津波対策の重要性についての指摘はこれまでに何度もあった

1990年	阿部壽・菅野喜貞・千釜章「仙台平野における貞観11年(869年)三陸津波の痕跡高の推定」
	貞観津波の痕跡高は、仙台平野の河川から離れた一般の平野部で2. 5mから3mで、浸水域は海岸線から3kmぐらゐの範囲であったと推定 (P390～391)
2002年 1月29日	土木学会の「津波評価技術」について、津波評価部会の幹事会社であった東電等から原子力安全・保安院に対し説明
	「物を造るという観点で想定される津波のmax」、「これを超えるものが理学的に絶対ないということではない」(P377)
2002年 7月31日	地震調査研究推進本部(推本)・地震評価委員会「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価」を公表
	明治三陸地震(1896年)と同様の地震は三陸沖北部海洋寄りから房総沖の海溝寄りの領域内のどこでも発生する可能性があるとしている (P392) * 明治三陸地震は、断層がゆっくりとずれることにより、人が感じる揺れが小さくても発生する津波の規模が大きくなるような「津波地震」
2006年 7月17日 ～20日	原子力工学国際会議(開催地: 米国マイアミ州)で東電の技術者が福島原発への津波の危険度を評価、報告
	この中で福島第一原発に設計の想定を超える津波が来る確率を「50年以内に約10%」と予測。さらに、「津波の影響を評価する時に『想定外』の現象を予想することは重要である」とも指摘。
2007年	福島県が2006年～07年にかけて行った津波想定調査の結果を公表
	津波シミュレーションにおいて、国が検討対象として選定した「宮城県沖の地震津波」「明治三陸タイプの地震津波」に加え「福島県沖高角断層地震津波」の三つの津波を想定 (P394)
2008年	東電社内で福島第一原発・第二原発における津波評価・対策が検討される
	2002年の推本「長期評価」に基づき試算を実施。福島第一原発2号機付近でO. P. +9. 3m、同5号機付近でO. P. +10. 2m、敷地南部でO. P. +15. 7mという想定波高の数値を得た (P396)、その結果は原子力・立地本部長に報告された (P398)

* 表中のページは東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会「中間報告」記載箇所を示す。

原子力発電所での全電源喪失による 冷却機能消失と炉心溶融が生じることについて

原子炉の冷却ができない事態が生じないように安全の確保に万全を期している

(2006 年 12 月 22 日／安倍内閣の政府答弁書)

燃料が破損、放射能が外部に放出されるという事態に、設計の段階で安全評価をして、そういう事態に至らないようまず確認するというのが一番の基本

(2006 年 10 月 27 日衆院内閣委／鈴木篤之・原子力安全委員会委員長)

多重防護でしっかり事故を防いでいく、メルトダウンを起こさないさまざまな仕組みをつくっている

(2010 年 4 月 9 日衆院経産委／直嶋正行・経済産業大臣)

原子力災害時の総理大臣の権限

○原子力災害対策本部長(内閣総理大臣)は、…緊急事態応急対策を的確かつ迅速に実施するため…、主務大臣(経済産業大臣)に対し、**規制法第64条第3項の規定により必要な命令をするよう指示**することができる。

(原子力災害対策特別措置法第20条第2項)

○原子力災害対策本部長(内閣総理大臣)は、…**原子力事業者**に対し、**必要な指示**をすることができる。

(同法第20条第3項)

○経済産業大臣は、…**原子力事業者等**に対し、…**原子炉施設の使用停止**、…又は原子炉による災害を防止するため**必要な措置を講ずることを命令**することができる。

(原子炉規制法第64条第3項)

「原子力損害賠償支援機構法案」の概要

東京電力福島原子力発電所の事故によって、住民や事業者の方々に大きな損害が発生している。政府として、①被害者への迅速かつ適切な損害賠償のための万全の措置、②東京電力福島原子力発電所の状態の安定化・事故処理に係る事業者等への悪影響の回避、③電力の安定供給の3つを確保するため、国民負担の極小化を図ることを基本として、損害賠償に関する支援を行う。

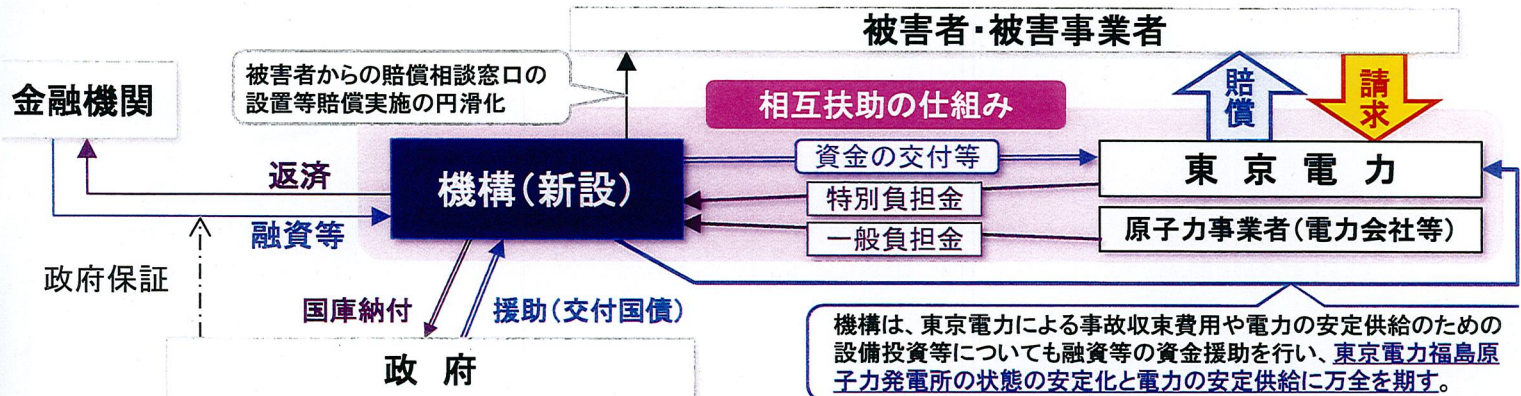
課題

- 現時点で事故が収束しておらず、賠償総額の見通しが立っていない。
- 東京電力による被害者への完全な損害賠償が速やかになされるよう体制の整備が不可欠。
- 東京電力は、必要な設備投資や燃料調達等の継続、事故収束への対応が資金繰りの面で困難な状況。

新たな支援措置の概要

- 巨額の損害賠償が生じる可能性を踏まえ、原子力事業者が損害賠償の支払等に対応するため、①原子力事業者は「相互扶助」の考え方に基づき、それぞれ資金を拠出して備え、②必要な場合には政府が損害賠償の支払等に係る援助を行う仕組みを構築する。
- 機構は、東京電力による事故収束費用や電力の安定供給のための設備投資等についても融資等の資金援助を行う。

機構を通じた支援によって、原子力損害賠償法上の賠償責任を有する事業者において、迅速かつ適切な賠償の実施が滞ることのないよう万全を期す。



「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法案」の概要

法案の概要

- 再生可能エネルギー源を用いて発電された電気について、国が定める一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務付ける。
- 買取に要した費用に充てるため各電気事業者がそれぞれの需要家に対して使用電力量に比例した賦課金(サーチャージ)の支払を請求することを認めるとともに、地域間でサーチャージの負担に不均衡が生じないよう必要な措置を講ずる。

法案の措置内容の詳細

1. 買取対象

- 太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスを用いて発電された電気。

※風力については、小型の風力発電を含む。
※水力については、3万kW未満の中小水力を対象とする。
※バイオマスについては、紙パルプ等他の既存産業に影響がないものを対象とする。

- 発電設備について、適正に再生可能エネルギー源を用いて発電を行う設備であること等の点を経済産業大臣が認定。

2. 買取義務の内容

- 一般電気事業者等が、買取義務(買取に必要な接続・契約の締結に応じる義務)を負う。

- 買取期間・価格については、それぞれ以下の点を勘案して、経済産業大臣が定める。

買取期間: 再生可能エネルギーの発電設備が設置されてから設備の更新が必要になるまでの標準的な期間

買取価格: 再生可能エネルギーの発電設備を設置し電気を供給する場合に通常必要となる発電コスト

※なお、制度開始時点においては、以下の買取価格と買取期間を定めることを想定している。

	太陽光発電以外	太陽光発電	
		住宅用	左記以外の事業所用、発電事業用等
買取価格	15~20円/kWhの範囲内で定める	当初は高い買取価格を設定。太陽光発電システムの価格低下に応じて、徐々に低減させる。	
買取期間	15~20年の範囲内で定める	10年	15~20年の範囲内で定める

3. 買取費用の負担方法

- 買取に要した費用に充てるため各電気事業者がそれぞれの需要家に対し、使用電力量に比例したサーチャージの支払を請求することを認める。
- 地域間でサーチャージ単価が同額となるよう、サーチャージ単価は国が定めるとともに、各電気事業者の買取費用の負担の不均衡を解消するため、国が指定する費用負担調整機関を通じて調整を実施する。

4. その他

- 電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法(RPS法)は廃止する。ただし、廃止に伴い既存発電設備の運転に影響が出ないように、必要な経過措置を講ずる。

- 少なくとも3年ごとに、再生可能エネルギーの導入量、サーチャージの負担の与える影響(特に電力多消費産業への影響)等を勘案し、制度の見直しを行うとともに、2020年度を目途に廃止を含めた見直しを行う。

▼本法案の基本的なスキーム

